

令和2年度（2020年度）陸用内燃機関生産（国内、海外）・輸出中間見通しについて

一般社団法人 日本陸用内燃機関協会

令和2年7月下旬より9月上旬にかけてエンジンメーカー18社を対象にアンケート調査を実施し、令和2年度陸用内燃機関の生産（国内、海外）・輸出中間見通しと令和元年度の実績をまとめました。陸用内燃機関生産、輸出見通し調査は当初（2月調査）、中間（8月調査）の年2回実施しております。尚、ガス機関につきましては、平成25年度分より統計資料として取りまとめております。

令和元年度の国内生産台数は、ガソリン機関、ディーゼル機関、ガス機関が共に減少し、全体で対前年度94.5%の3,945千台と、2年ぶりに減少の実績となりました。また、海外生産台数も、ガソリン機関、ディーゼル機関の減少が大きく対前年度92.2%の9,223千台で6年ぶりの10,000千台割れとなり、これにより国内と海外を合わせた生産台数は、対前年度92.9%の13,168千台と減少の実績となりました。

令和元年度の国内需要動向は、自然災害の影響による防災向け発電機需要、災害復興用の建設機械レンタル需要等があるものの、農機の需要低迷、自然災害や雪不足の影響等で需要の明るさが見えない状況です。また海外は、米国市場の堅調さと中国や欧州建機市場の好調継続があるものの、欧州やアジアの天候不良、米中貿易摩擦の影響等によるアジア圏の景況感が後退するなど需要減少の傾向です。第4四半期は新型コロナウイルスによる中国や欧州のロックダウンで販売に影響が出ましたが、全体の生産台数は本年2月に調査した当初見通し並みであり、生産台数への大きな影響は出なかった模様です。

令和2年度は、国内海外ともに前年度からの減少傾向に加えて、新型コロナウイルスが需要動向や生産動向に大きな影響を及ぼすことが見込まれます。中国は急激な回復が見られますが、国内及びその他の地域は令和2年度前半に大きな影響があり、後半も不透明な状況です。一方で、国内の個人向け商品にはステイホームによるとみられる需要増も見られます。

このような中、令和2年度の国内生産は、ガソリン機関、ディーゼル機関、ガス機関が共に減少し、対前年度81.4%の3,211千台と2年連続減少の見通しとなりました。海外生産は、ディーゼル機関及びガス機関が増加するもののガソリン機関の減少が大きく、対前年度93.6%の8,635千台と4年連続減少の見通しです。これにより、国内と海外を合わせた生産台数は対前年度90.0%の11,845千台と2年連続減少し、H21年度の11,272千台以来11年ぶりに1200万台を割り込む見通しとなりました。尚、新型コロナウイルスの影響を含んでいない当初見通しに対しては、全体で3.7%（455千台）減少、ガソリン機関は1.9%（194千台）減少、ディーゼル機関は13.0%（251千台）減少、ガス機関は9.3%（10千台）減少の見通しとなりました。

令和元年度の実績と令和2年度の中間見通しを以下のようにまとめました。

〔国内生産〕

（1）ガソリン機関

令和元年度の国内生産は、台数で対前年度比99.1%の2,315千台、金額は94.1%の478億円の実績です。

令和2年度の国内生産は、台数で同79.0%の1,828千台の見通しで、当初見通しに対して38千台減少しました。

（2）ディーゼル機関

令和元年度の国内生産は、台数で同89.0%の1,553千台、金額は94.8%の5,138億円の実績です。

令和2年度の国内生産は、台数で同84.9%の1,317千台の見通しで、当初見通しに対して226千台減少しました。

（3）ガス機関

令和元年度の国内生産は、台数で同81.9%の77千台、金額は106.5%の204億円の実績です。

令和2年度の国内生産は、台数で同84.9%の65千台の見通しで、当初見通しに対して13千台減少しました。

以上の結果、令和元年度の陸用内燃機関の国内生産台数は、対前年度比94.5%の3,945千台、金額は95.1%の5,820億円の実績となりました。また、令和2年度の国内生産台数は、同81.4%の3,211千台の見通しで、当初見通しに対して275千台減少しました。

〔輸出〕

(1) ガソリン機関

令和元年度の輸出は、台数で対前年度比 63.6%の 552 千台、金額は 65.9%の 125 億円の実績です。

令和2年度の輸出は、台数で同 28.1%の 155 千台の見通しで、当初見通しに対して 35 千台減少しました。

(2) ディーゼル機関

令和元年度の輸出は、台数で同 87.2%の 1,193 千台、金額は 92.1%の 3,216 億円の実績です。

令和2年度の輸出は、台数で同 85.8%の 1,023 千台の見通しで、当初見通しに対して 161 千台減少しました。

(3) ガス機関

令和元年度の輸出は、台数で同 66.7%の 40 千台、金額は 86.9%の 76 億円の実績です。

令和2年度の輸出は、台数で同 85.5%の 34 千台の見通しで、当初見通しに対して 7 千台減少しました。

以上の結果、令和元年度の陸用内燃機関の輸出台数は、対前年度比 77.7%の 1,785 千台、金額は 90.6%の 3,417 億円の実績となりました。また、令和2年度の輸出台数は、同 68.0%の 1,213 千台の見通しで、当初見通しに対して 202 千台減少しました。

〔海外生産〕

ガソリンは北米やアジア、ディーゼルはアジアや欧州を中心に海外 9 カ国において、会員企業 9 社が生産を行っています。

(1) ガソリン機関

令和元年度の海外生産台数は、対前年度比 93.1%の 8,852 千台の実績です。

令和2年度の海外生産台数は、同 93.1%の 8,245 千台の見通しで、当初見通しに対して 156 千台減少しました。

(2) ディーゼル機関

令和元年度の海外生産台数は、同 72.3%の 350 千台の実績です。

令和2年度の海外生産台数は、同 102.3%の 358 千台の見通しで、当初見通しに対して 26 千台減少しました。

(3) ガス機関

令和元年度の海外生産台数は、同 209.9%の 21 千台の実績です。

令和2年度の海外生産台数は、同 152.8%の 32 千台の見通しで、当初見通しに対して 4 千台増加しました。

以上の結果、令和元年度の陸用内燃機関の海外生産台数は、対前年度比 92.2%の 9,223 千台の実績となりました。また、令和2年度の陸用内燃機関の海外生産台数は、同 93.6%の 8,635 千台の見通しで、当初見通しに対して 179 千台減少しました。

〔国内・海外生産合計〕

(1) ガソリン機関

令和元年度の国内・海外生産合計台数は、対前年度比 94.3%の 11,167 千台の実績です。

令和2年度の国内・海外生産合計台数は、同 90.2%の 10,073 千台の見通しで、当初見通しに対して 194 千台減少しました。

(2) ディーゼル機関

令和元年度の国内・海外生産合計台数は、同 85.3%の 1,903 千台の実績です。

令和2年度の国内・海外生産合計台数は、同 88.1%の 1,676 千台の見通しで、当初見通しに対して 251 千台減少しました。

(3) ガス機関

令和元年度の国内・海外生産合計台数は、同 94.1%の 98 千台の実績です。

令和2年度の国内・海外生産合計台数は、同 99.2%の 97 千台の見通しで、当初見通しに対して 10 千台減少しました。

以上の結果、令和元年度の陸用内燃機関の国内・海外生産合計台数は、対前年度比 92.9%の 13,168 千台の実績となり、当初見通しに対して 9 千台増加しました。また、令和2年度の国内・海外生産合計台数は、同 90.0%の 11,845 千台の見通しで、当初見通しに対して 455 千台減少しました。

また、令和2年度の海外生産比率は、ガソリン機関が、同 1.9 ポイント上昇し 81.8%、ディーゼル機関が 1.5 ポイント上昇し 19.9%となり、ガス機関が大きく 12.6 ポイント上昇したのを合わせて全体では 1.2 ポイント上昇し 71.7%となる見通しです。

以上

2020(R2)年度陸用内燃機関生産(国内、海外)・輸出中間見通し:年度ベース

一般社団法人日本陸用内燃機関協会
会員アンケートの集計値

国内生産

台数(単位:千台)

品目群	2018(H30)年度	2019(R1)年度		2020(R2)年度	
	実績	年度実績	前年度比(%)	年度見通し	前年度比(%)
ガソリン機関	2,336	2,315	99.1%	1,828	79.0%
ディーゼル機関	1,745	1,553	89.0%	1,317	84.9%
ガス機関	94	77	81.9%	65	84.9%
合計	4,176	3,945	94.5%	3,211	81.4%

金額(単位:百万円)

品目群	2018(H30)年度	2019(R1)年度	
	実績	年度実績	前年度比(%)
ガソリン機関	50,798	47,779	94.1%
ディーゼル機関	542,238	513,827	94.8%
ガス機関	19,190	20,433	106.5%
合計	612,226	582,039	95.1%

輸出

台数(単位:千台)

品目群	2018(H30)年度	2019(R1)年度		2020(R2)年度	
	実績	年度実績	前年度比(%)	年度見通し	前年度比(%)
ガソリン機関	869	552	63.6%	155	28.1%
ディーゼル機関	1,369	1,193	87.2%	1,023	85.8%
ガス機関	60	40	66.7%	34	85.5%
合計	2,298	1,785	77.7%	1,213	68.0%

金額(単位:百万円)

品目群	2018(H30)年度	2019(R1)年度	
	実績	年度実績	前年度比(%)
ガソリン機関	19,034	12,547	65.9%
ディーゼル機関	349,302	321,563	92.1%
ガス機関	8,736	7,595	86.9%
合計	377,071	341,705	90.6%

海外生産

台数(単位:千台)

品目群	2018(H30)年度	2019(R1)年度		2020(R2)年度	
	実績	年度実績	前年度比(%)	年度見通し	前年度比(%)
ガソリン機関	9,509	8,852	93.1%	8,245	93.1%
ディーゼル機関	484	350	72.3%	358	102.3%
ガス機関	10	21	209.9%	32	152.8%
合計	10,003	9,223	92.2%	8,635	93.6%

国内・海外生産合計

台数(単位:千台)

品目群	2018(H30)年度	2019(R1)年度		2020(R2)年度	
	実績	年度実績	前年度比(%)	年度見通し	前年度比(%)
ガソリン機関	11,845	11,167	94.3%	10,073	90.2%
ディーゼル機関	2,230	1,903	85.3%	1,676	88.1%
ガス機関	104	98	94.1%	97	99.2%
合計	14,179	13,168	92.9%	11,845	90.0%

海外生産比率

品目群	2018(H30)年度	2019(R1)年度		2020(R2)年度	
	実績	年度実績	前年度比(%)	年度見通し	前年度比(%)
ガソリン機関	80.3%	79.3%	-1.0	81.9%	+2.6
ディーゼル機関	21.7%	18.4%	-3.3	21.4%	+3.0
ガス機関	9.5%	21.2%	+11.7	32.6%	+11.4
合計	70.5%	70.0%	-0.5	72.9%	+2.9

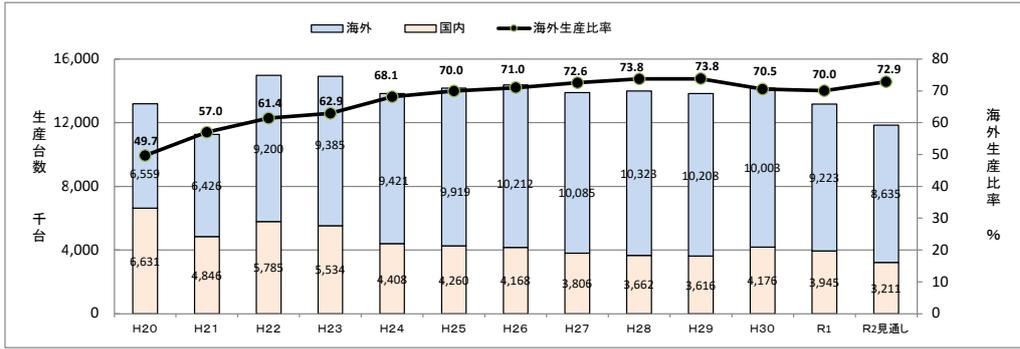
注記)表中の台数は百の桁を四捨五入して千台単位で、金額は10万円の桁を四捨五入して百万円単位で表示しています。
海外生産台数との重複を避けるため、国内生産台数にはKD生産台数が含まれていません。

国内生産台数と海外生産台数の推移〔H20～R2(2020)年度〕【単体エンジン】中間見通し

1. ガソリン、ディーゼル、ガス 合計

R2.10.1

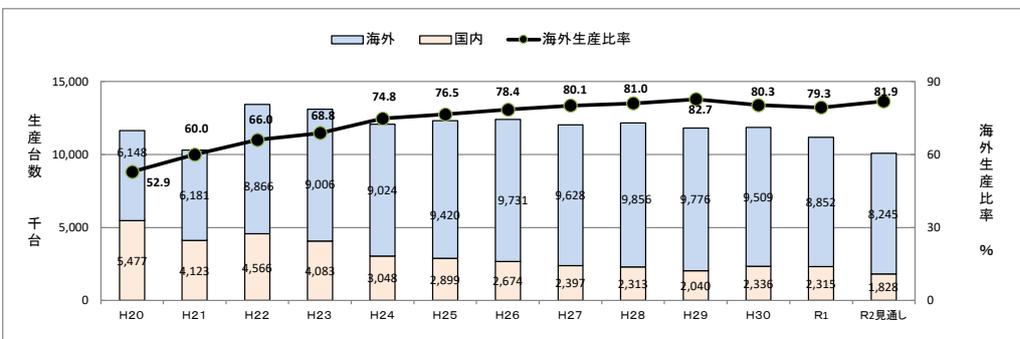
令和2(2020)年度は国内生産が2年連続、海外生産台数が4年連続で減少し、合計で前年度比90.0%の11,845千台で平成21年度以来11年ぶりに1200万台割れの見通し。



	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見通し	
合計	13,190	11,272	14,985	14,919	13,829	14,179	14,380	13,891	13,985	13,824	14,179	13,168	11,845	(千台)
国内	6,631	4,846	5,785	5,534	4,408	4,260	4,168	3,806	3,662	3,616	4,176	3,945	3,211	(千台)
海外	6,559	6,426	9,200	9,385	9,421	9,919	10,212	10,085	10,323	10,208	10,003	9,223	8,635	(千台)
海外生産比率	49.7	57.0	61.4	62.9	68.1	70.0	71.0	72.6	73.8	73.8	70.5	70.0	72.9	(%)

2. ガソリンエンジン

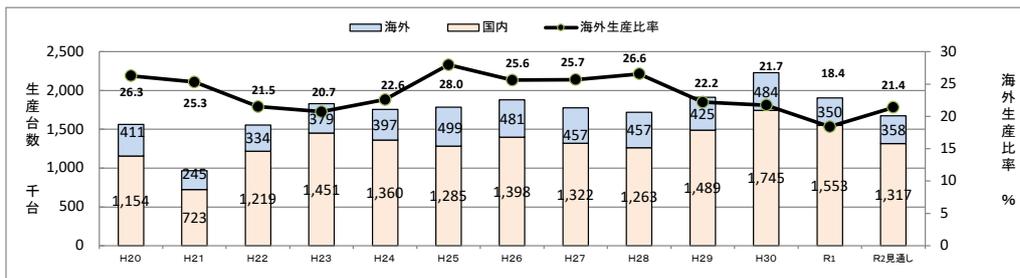
令和2(2020)年度は、国内生産、海外生産の合計台数が2年連続で大きく減少し、平成21年度並みの低水準となる見通し。



	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見通し	
ガソリン	11,625	10,304	13,432	13,089	12,072	12,319	12,405	12,025	12,169	11,816	11,845	11,167	10,073	(千台)
国内	5,477	4,123	4,566	4,083	3,048	2,899	2,674	2,397	2,313	2,040	2,336	2,315	1,828	(千台)
海外	6,148	6,181	8,866	9,006	9,024	9,420	9,731	9,628	9,856	9,776	9,509	8,852	8,245	(千台)
海外生産比率	52.9	60.0	66.0	68.8	74.8	76.5	78.4	80.1	81.0	82.7	80.3	79.3	81.9	(%)

3. ディーゼルエンジン

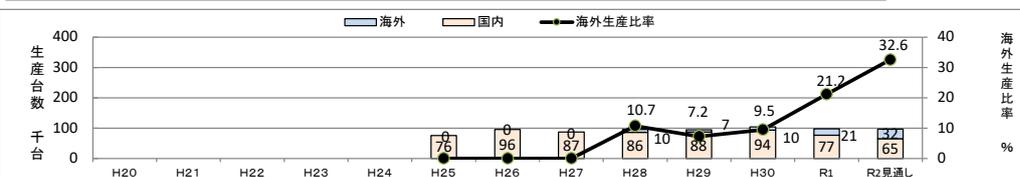
令和2(2020)年度は、国内生産、海外生産の合計台数が2年連続で大きく減少し、平成22年度以来の低水準となる見通し。



	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見通し	
ディーゼル	1,565	968	1,553	1,830	1,757	1,784	1,879	1,779	1,720	1,914	2,230	1,903	1,676	(千台)
国内	1,154	723	1,219	1,451	1,360	1,285	1,398	1,322	1,263	1,489	1,745	1,553	1,317	(千台)
海外	411	245	334	379	397	499	481	457	457	425	484	350	358	(千台)
海外生産比率	26.3	25.3	21.5	20.7	22.6	28.0	25.6	25.7	26.6	22.2	21.7	18.4	21.4	(%)

4. ガスエンジン

H25年度から統計を取っている。生産台数は10万台レベルの水準で横ばいだが海外生産比率が大きく増加する見込み。



	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見通し	
ガス						76	96	87	86	88	94	77	65	(千台)
国内						76	96	87	86	88	94	77	65	(千台)
海外						0	0	0	10	7	10	21	32	(千台)
合計						76	96	87	96	95	104	98	97	(千台)
海外生産比率						0	0	0	10.7	7.2	9.5	21.2	32.6	(%)